

中田

東京中田会 18人が来町



▲ふるさとのリンゴと楽しい思い出を両手いっぱい持ち帰りました

25回目のふるさとツアー

今年で25回目を迎える「東京中田会ふるさと訪問ツアー」が11月2日から4日までの3日間、中田町内で開催されました。ツアーは、参加者にふるさとの自然や温かさに触れてもらい、中田の魅力により一層PRしてもらおうと毎年開催しているもの。今年も18人が参加しました。一行は「なかだの秋まつり」の見学や中田町上沼のりんご園でリンゴ狩りを体験。参加者は、ふるさとでの楽しい思い出を土産に帰っていきました。今年も東京中田会設立25周年の節目を迎えたことから、会から中田町へ記念の石碑とナナカマドの木が贈られました。

迫

西館区で「見でけらいーん」



▲さまざまな手作り作品に囲まれ、集まった人たちの会話も弾みます

手作り作品でおもてなし

迫町西館地区で、「見でけらいーん2」を11月16、17日の2日間、西館集会所で開催しました。この事業は、地区住民の手作りの作品を展示し、来場者をお茶などでおもてなしするものです。今回は、地区の子どもから大人までが作った絵画やちぎり絵、生け花など合わせて94点の作品を展示。2日間とも好天に恵まれこともあり、地区内外から約120人が会場を訪れ、展示作品を鑑賞しながら親睦を深めました。昨年からの開催され今年で2回目となる同事業も、地域になくてはならないイベントになりました。

冬の夜空に3万の蛍輝く

今年で14回目を迎える「豊里駅前冬の蛍通り」の点灯セレモニー&クリスマスパーティーが、12月1日に駅前広場で開催されました。当日は午後5時に点灯スイッチが押されると、駅前の産直施設とイチョウの街路樹に設置された約3万個の色とりどりの電球が一斉に点灯。パーティーでは、温かいコーンスープが振る舞われたほか、サンタクロースに仮装した実行委員が、子どもたちにお菓子のプレゼントを配るなど、来場者は一足早いクリスマス気分を楽しみました。冬の蛍通りは年明けの1月31日まで開催されています。

豊里駅前冬の蛍通り開催中

豊里



▲冬の風物詩になった駅前を飾る色とりどりのイルミネーション

火災予防と交通安全願

年未年始の火災予防と交通安全をお願い。北上保育園幼年防火クラブの園児20人が11月25日、登米警察署や市消防署らの協力の下、登米町交通安全公園前で、ドライバーへ手作りの折り鶴の短冊を渡しました。これからの季節は、暖房器具による火災の発生や凍結した道路でのスリップなど、事故につながる危険が多くなる時期。園児たちは、心を込めて丁寧に折った鶴と啓発メッセージを書いたカードを渡し「飲酒運転はしないでね」「火の用心、気をつけて」とドライバーたちに注意を呼び掛けました。

北上保育園で折り鶴配布

登米



▲「交通安全」や「火の用心」と書かれた短冊と折り鶴を渡す園児たち

米山

米山東小で放課後教室



▲教室終了後、隊員の皆さんと記念撮影

自衛隊のお仕事教えます

米山東小学校放課後子ども教室と児童クラブが年間事業(全7回)で実施している「どんなお仕事しているのかな」の教室が、12月2日に開催されました。5回目となる今回のテーマは「自衛隊のお仕事」です。当日は、自衛隊宮城地方協力本部登米地域事務所から2人の講師を迎え、普段の仕事や訓練の様子が写真などを使って紹介されました。子どもたちは、自衛隊の仕事がたくさんあることにびっくりしていました。後半は、子どもたちが手作りした紅白の手旗を使い、全員で元気に手旗信号と敬礼の練習をしました。

東和

健康なまちづくり講演会



▲椅子に座ってできる運動をする参加者。体を伸ばして心もスッキリ

運動と適塩の輪を広げよう

東和地区健康なまちづくり講演会が、12月4日に東和勤労青少年ホームで開催されました。講演会は、市が生活改善推進員と協力、登米市の健康課題と運動習慣、適塩生活の大切さを周知し、健康の輪を広げるために開催したものです。当日は48人の住民が参加。会場では、食生活改善推進員が調理した塩分濃度が異なる2種類の豚汁を食べ比べたり、保健師から健診結果を踏まえた説明などを受けていました。好評だったのが健康運動指導士の薄井愛さんによる簡単な運動。参加者は、楽しく体を動かしていました。